



2024年8月7日

各位

会社名 株式会社 J - M A X
代表者名 代表取締役 山崎 英次
社長 執行役員
(コード番号 3422 東証スタンダード・名証メイン)
問合せ先 取締役 常務執行役員 青山 秀美
管理本部長
(TEL 0584-48-2832)

2025年3月期第2四半期(累計)連結業績予想の修正及び通期連結業績予想の修正並びに 減損損失(特別損失)の計上に関するお知らせ

当社は、2025年3月期第1四半期連結累計期間(2024年4月1日～2024年6月30日)において、減損損失を計上することといたしましたのでお知らせいたします。また、最近の業績動向を踏まえ、2025年3月期第2四半期(累計)連結業績予想及び通期連結業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2025年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2024年4月1日～2024年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 22,000	百万円 △150	百万円 △350	百万円 120	円 銭 10.48
今回発表予想(B)	22,000	△350	△600	△1,250	△109.15
増減額(B-A)	0	△200	△250	△1,370	
増減率(%)	0.0	-	-	-	
(参考)前期第2四半期実績 (2024年3月期第2四半期)	25,653	107	△70	△15	△1.32

(2) 2025年3月期通期連結業績予想数値の修正(2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 47,000	百万円 400	百万円 0	百万円 △850	円 銭 △74.26
今回発表予想(B)	46,000	50	△400	△1,600	△139.72
増減額(B-A)	△1,000	△350	△400	△750	
増減率(%)	△2.1	△87.5	-	-	
(参考)前期実績 (2024年3月期)	54,347	1,041	731	△1,026	△89.45

(3) 差異の理由

売上高・営業利益・経常利益については、タイ及び中国における市場環境変化及び為替動向を考慮し、前回発表予想値を下回る見通しとなりました。また、親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益については、これらの経営環境変化にスピーディに対応するため前倒し且つ追加的に構造改革を実施しており、下記に記載の構造改革推進に伴う関連費用を特別損失に計上することにより前回発表予想値を下回る見通しとなりました。

(参考) 構造改革の進捗状況について

当社は2024年5月10日に「中長期経営計画見直しに関するお知らせ」にて固定費の抜本的な削減による企業体質の強化を目的とした構造改革を実施することを公表しております。今般、その構造改革の進捗状況についてお知らせいたします。

	構造改革の概要 (5月10日公表時点)	当初 (5月10日公表内容) からの追加施策	進捗状況
J-MAX (株式会社 J-MAX)	・東海地区の工場再編	-	➤ 5月10日公表内容から追加及び変更はなく、工場再編を継続推進中。
タイ・ マルジュン 社	・金型事業縮小に伴う 当該工場及び土地の 売却	・生産体制の見直しによる 効率的な人員体制の 構築 ・客先の生産数に対応し た生産設備の最適化	➤ 金型事業縮小に伴う工場及び土地の売却は予定通り推進中。 ➤ 2024年3月期に引き続き、生産体制の見直しによる効率的な人員体制の構築を追加実施予定。 ➤ 客先の生産数に対応した生産設備の最適化による遊休資産の売却を追加実施中。
広州丸順社 (広州丸順 自動車配件有 限公司)	・生産工場統廃合を含む 工場再編 ・客先の生産数に対応し た生産設備の最適化	・客先の生産数に対応し た生産設備の最適化	➤ 広州恒邦倉儲有限公司(旧: 広州丸順社第1工場)の売却は予定通り推進中。 ➤ 客先の生産数に対応した生産設備の最適化による減損損失の計上を追加実施。
武漢丸順社 (武漢丸順 自動車配件有 限公司)	・希望退職の募集 ・客先の生産数に対応し た生産設備の最適化	・客先の生産数に対応し た生産設備の最適化	➤ 希望退職の募集を予定通り実施。 ➤ 当初想定(5月10日公表)に加え、客先の生産数に対応した生産設備の最適化を追加実施予定。

当社を取り巻く市場環境は年々激化しており、これらの構造改革については2025年3月期の完遂までに、当初想定していた内容をさらに加速させて実行していくことで、早期に強固な経営体質を構築し、中長期的な成長戦略による収益拡大につなげてまいります。なお、構造改革推進に伴う関連費用については詳細を精査中であり、今後、開示すべき事項が発生した場合には速やかに開示いたします。

2. 減損損失(特別損失)の計上について

当社の連結子会社である広州丸順自動車配件有限公司が保有する固定資産について、構造改革の一環として当該固定資産に係る回収可能性を検討した結果、帳簿価額を回収可能価額まで減少し、当該減少額508百万円を減損損失として特別損失に計上いたします。

なお、当該減損損失(特別損失)については、本日公表の「2025年3月期第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」に反映しております。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上